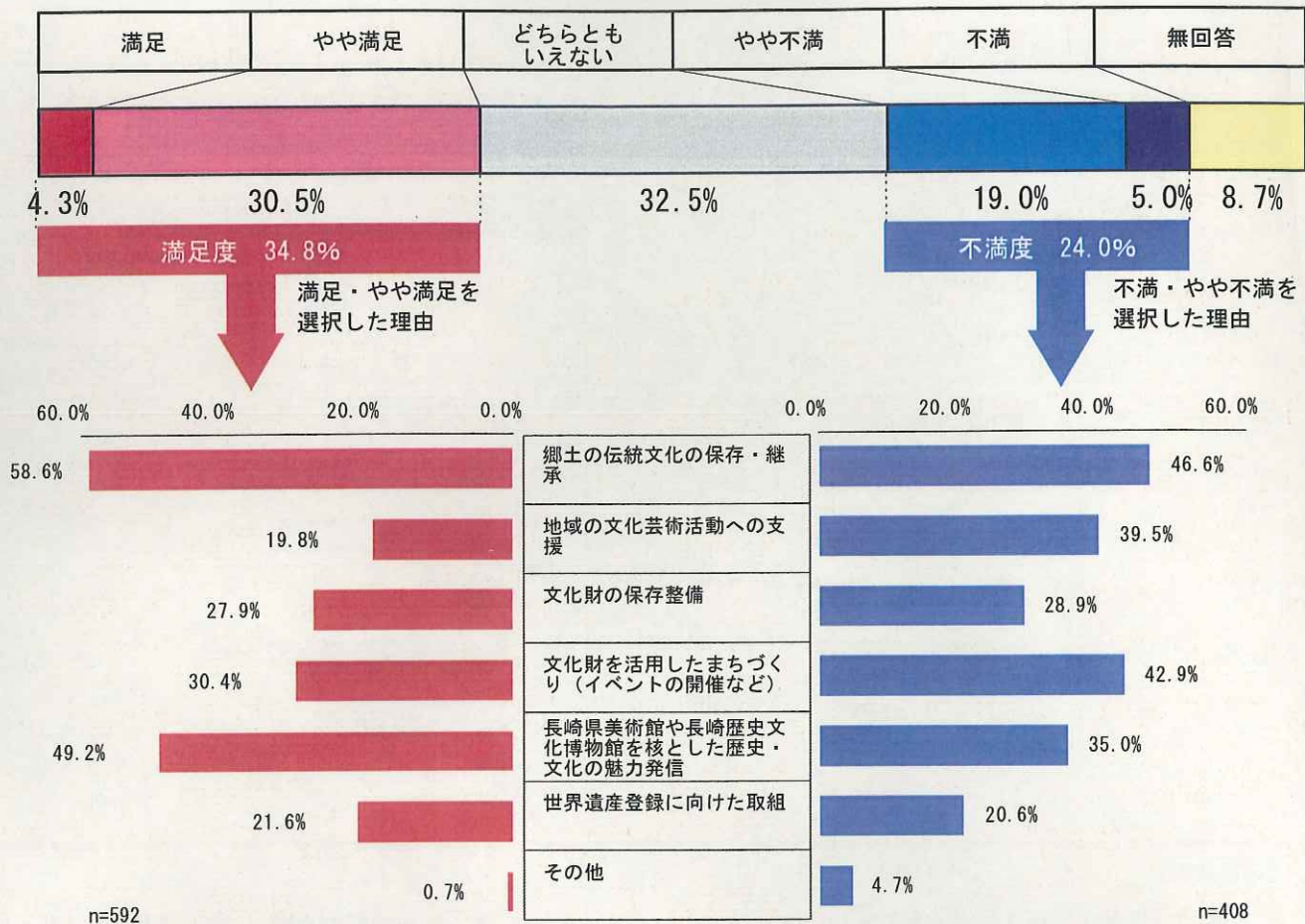


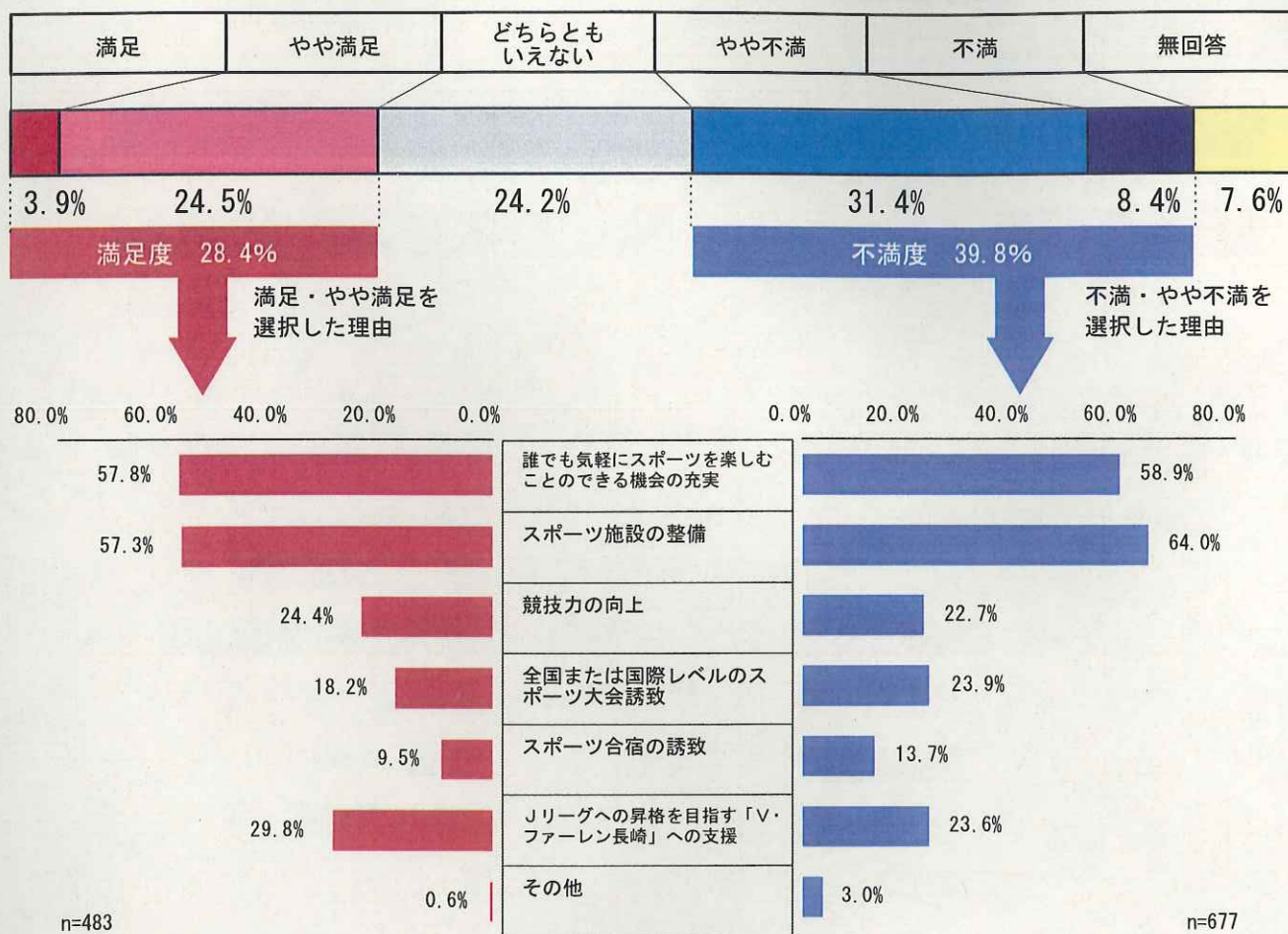
[5-15] 文化・芸術の振興



【分析結果】

- ・満足度 (34.8%) が不満度 (24.0%) を 10.8 ポイント上回っており、地域や性別、年代を問わず同様の傾向となっている。また、県南地域 (40.0%) の満足度が特になくなっている。
- ・満足度の要因をみると、「郷土の伝統文化の保存・継承」が最も多く、島原半島地域 (67.3%)、離島地域 (63.3%) で多くなっている。年代別では 30 歳代を除く年代で最も多くなっている。次いで、「長崎県美術館や長崎歴史文化博物館を核とした歴史・文化の魅力発信」が続いており、県央地域 (54.8%)、県南地域 (58.5%) で多くなっている。性別では女性 (53.0%) が男性 (44.6%) に比べて多く、年代別では 30 歳代 (52.6%)、70 歳以上 (52.6%) が多くなっている。
- ・不満度の要因をみると、「郷土の伝統文化の保存・継承」が最も多く、離島地域 (66.7%) で多くなっている。次いで「文化財を活用したまちづくり」が続いており、20 歳代 (48.6%) が多くなっている。

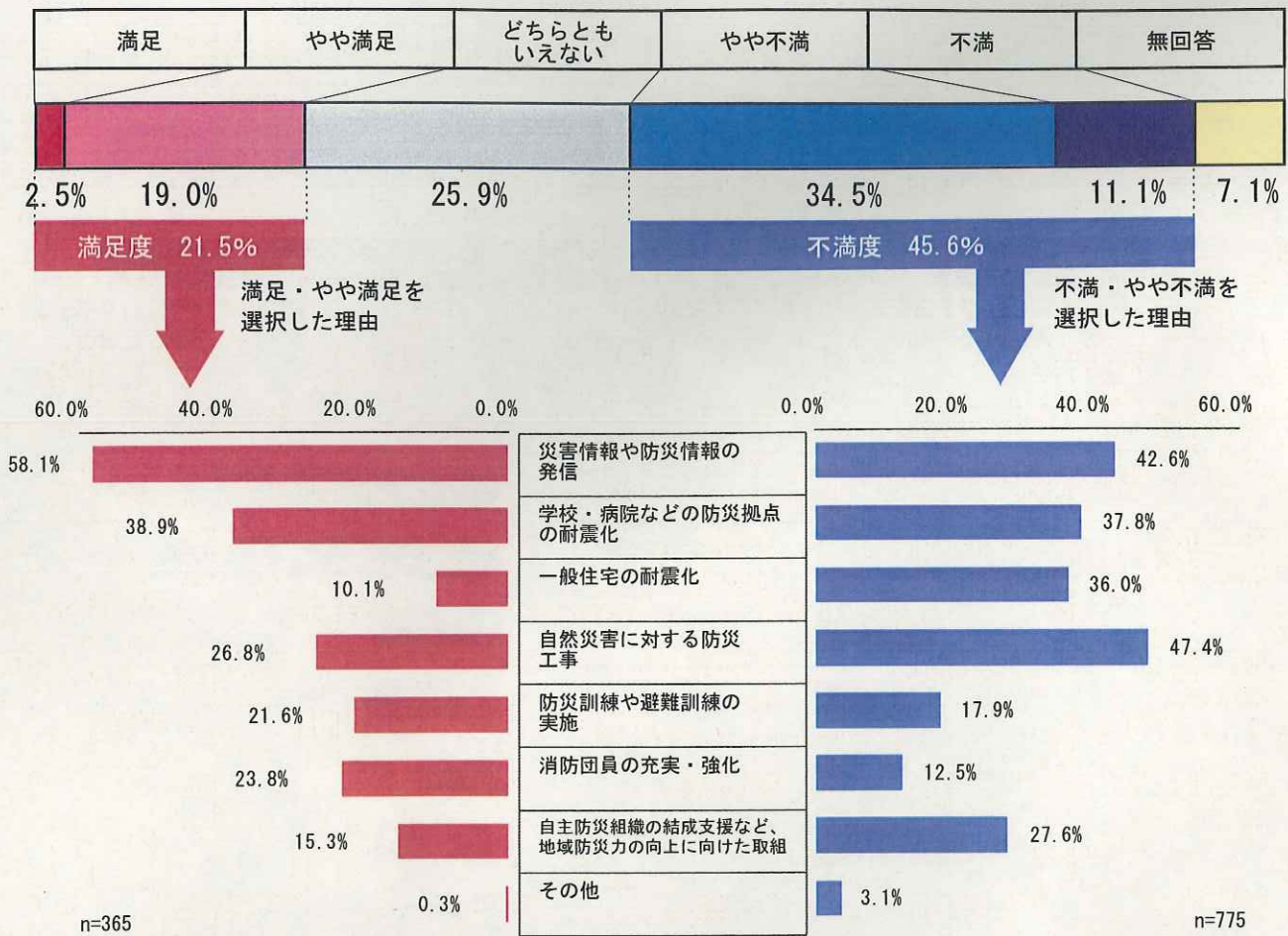
[5-16] スポーツの振興



【分析結果】

- ・ 不満度 (39.8%) が満足度 (28.4%) を 11.4 ポイント上回っている。70 歳代以上の年代では満足度が不満度を上回ったものの、地域や性別、年代を問わず同様の傾向となっている。
- ・ 満足度の要因をみると、「誰でも気軽にスポーツを楽しむことのできる機会の充実」が最も多く、離島地域 (76.7%) が多くなっている。次いで「スポーツ施設の充実」が続いており、県央地域 (67.6%)、島原半島地域 (65.5%) が多くなっている。
- ・ 不満度の要因をみると、「スポーツ施設の整備」が最も多く、特に 30 歳代 (71.4%) が多くなっている。次いで「誰でも気軽にスポーツを楽しむことのできる機会の充実」が続いており、特に県央地域 (65.1%)、離島地域 (64.7%) が多く、女性 (63.9%) が男性 (53.8%) に比べて多くなっている。

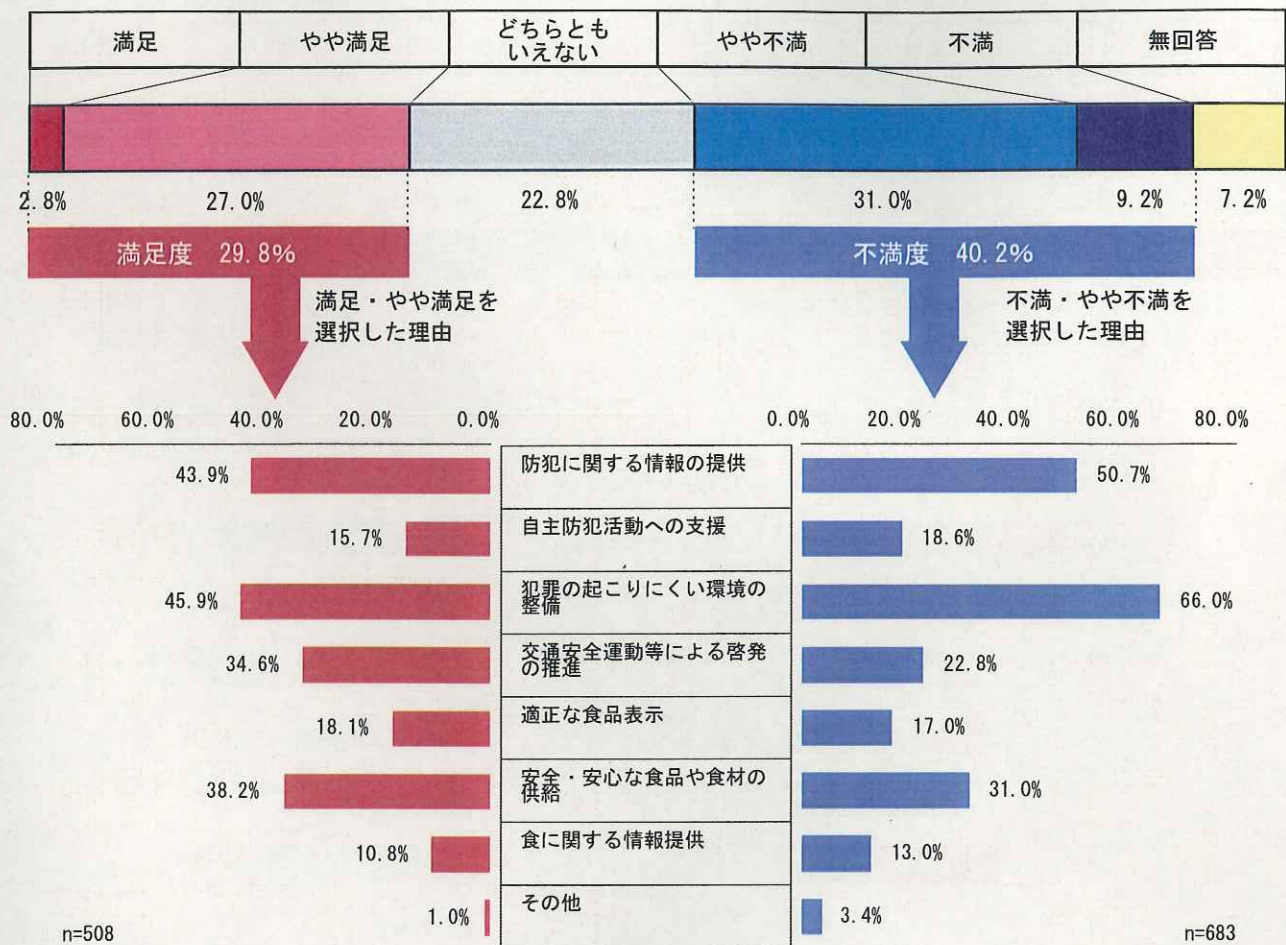
[5-17] 防災対策



【分析結果】

- ・ 不満度 (45.6%) が満足度 (21.5%) を 24.1 ポイント上回っており、地域や性別、年代を問わず同様の傾向となっている。
- ・ 満足度の要因をみると、「災害情報や防災情報の発信」が最も多く、特に離島地域 (69.4%)、県南地域 (66.7%)、島原半島地域 (66.7%) が多くなっている。年代別では特に 60 歳代 (65.5%) が多い。次いで「学校・病院などの防災拠点の耐震化」が続いているが、島原半島地域 (21.4%)、離島地域 (25.0%) が他の地域に比べて少なくなっている。
- ・ 不満度の要因をみると、「自然災害に対する防災工事」が最も多く、全ての地域で同様の傾向となっている。次いで「災害情報や防災情報の発信」が続いている。

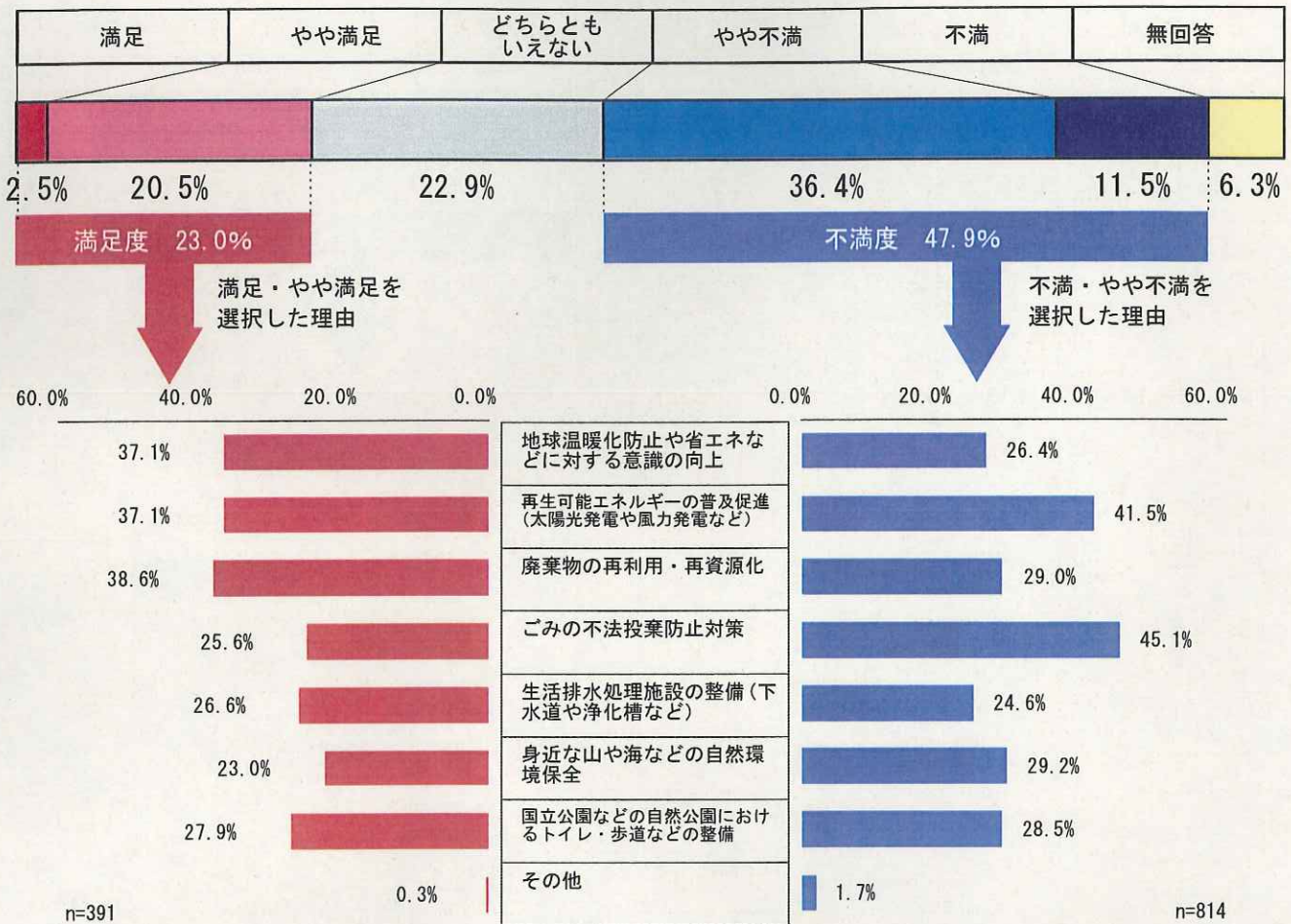
[5-18] 安全な暮らしづくり



【分析結果】

- ・ 不満度 (40.2%) が満足度 (29.8%) を 10.4 ポイント上回ったが、離島地域では満足度 (32.7%) が不満度 (32.0%) を上回っている。
- ・ 満足度の要因をみると、「犯罪の起こりにくい環境の整備」が最も多く、男性 (52.6%) が女性 (40.8%) に比べて多くなっている。次いで「防犯に関する情報の提供」が続いている。
- ・ 不満度の要因をみると、地域や性別、年代を問わず「犯罪の起こりにくい環境の整備」が最も多くなっている。次いで「防犯に関する情報の提供」が続いている。

[5-19] 環境対策



【分析結果】

- ・不満度 (47.9%) が満足度 (23.0%) を 24.9 ポイント上回っており、特に離島地域 (54.9%)、島原半島地域 (54.2%) の不満度が高くなっている。
- ・満足度の要因をみると、「廃棄物の再利用・再資源化」、「地球温暖化防止や省エネなどに対する意識の向上」、「再生可能エネルギーの普及促進」の割合が拮抗している。
- ・不満度の要因をみると、「ごみの不法投棄防止対策」が最も多く、県央地域を除く地域で最も多くなっている。次いで「再生可能エネルギーの普及促進」が続いている。